

令和4年度「ふるさと自慢映像大賞」 柏原中学校が最優秀賞を受賞

県教育委員会の主催する「ふるさと自慢映像大賞」において柏原中学校生徒主体の自主制作動画が最優秀賞を受賞しました。生徒が侍と遭遇する夢を見る中で、丹波市の魅力を知ることになるというストーリー仕立てで作成。生徒が教師と一緒に構成、撮影、編集を手掛け延べ3週間かけて約10分間の動画に仕上げました。

上郡達也さんは「映像制作を通してまちの魅力を知り、誇りを持つことができた」と話しました。



受賞を喜ぶ上郡達也さん、三井琉生さん、蘆田翔太さん、細見優妃さん、中尾心玲さん、山口あかねさん(写真左上から)

崇広小6年の大森くん、朝来市立枚田小6年の田川くん ジュニアオリンピックカップ出場



林市長に健闘を誓う田川くん(左)と大森くん(右)

3月20日、崇広小学校6年の大森龍乃介くん、朝来市立枚田小学校6年の田川颯良くんが、水泳の全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会への出場を報告するため、市長を表敬訪問しました。2人は丹波市内のプールで練習し出場を決めました。

大森龍乃介くんは「昨年に引き続き2度目の出場。自己ベストを目指します」と意気込み、田川颯良くんも「お世話になっている人のためにも良い記録を出したい」と大会での健闘を誓いました。

県内初となる オーガニックビレッジを宣言



オーガニックビレッジを宣言する林市長と澤田近畿農政局地方参事官

3月31日、丹波市は県内で初となるオーガニックビレッジを宣言しました。同宣言は、農林水産省が先進的なモデル地区の取組を後押しするもので、有機農産物の販路拡大などに向け、実証試験や情報発信の強化を行います。

4月5日の記者発表で、澤田昌利近畿農政局地方参事官は「丹波市は農の学校など、若手の就農を促進している。引き続き、兵庫県のトップランナーとして活躍して欲しい」とエールを送りました。

市内で活動する大学の支援に取り組む 地域おこし協力隊に鈴江さん

4月1日、市内で活動する大学を支援するため、地域おこし協力隊員として、鈴江瞭平さんが着任しました。地域おこし協力隊員として、市内各所で活動する大学生の情報発信や新たなフィールドワークメニューの開発などを行います。

鈴江さんは「丹波市になじんで、徐々に自分の視点を活かせるように精一杯取り組んでいきたい」と抱負を述べました。



市長から委嘱書を手渡された鈴江さん(右)

■市内3校で閉校式典

和田中学校

歌のお姉さんの美声響く

3月25日、和田中学校で閉校式と閉校記念イベントが開催されました。オープニングでは母校の歴史を振り返るスライドショー上映や地元岩尾城太鼓の力強い演奏が会場を盛り上げました。

また、フィナーレには卒業生でNHK・BS「にこにこぷんがやってきた」の歌のお姉さんとして活躍した岡本明日香さんが歌を披露したほか、最後は会場と一緒に校歌を熱唱し閉校する和田中学校へ思い出を刻みました。



ステージで歌を披露する岡本明日香さん

山南中学校

ステージイベントが大盛況



ステージイベントで歌を披露する有田知絵さん（左）、足立大地さん（右）

3月25日、山南中学校で閉校式と閉校記念イベントが開催されました。体育館で母校の歴史を振り返るスライドショーの上映が行われました。

また、場外ステージでは山南中学校生徒会によるクイズ大会やコント、氷上町出身のシンガーソングライター足立大地さんや山南町在住の有田知絵さんらも歌で会場を盛り上げ、参加者全員で校歌を歌いました。

校舎内は自由に見学でき、卒業生らは懐かしい教室に足を踏み入れ、思い出話に花を咲かせました。

鴨庄小学校

児童や卒業生のお別れ演奏

3月26日、鴨庄小学校の閉校式と閉校記念イベントが同校体育館で行われました。式典には在校生、卒業生、地域住民ら計約310人が式典に参加。1874年の創立から今年3月末までに計2157人の卒業生を送り出した学び舎との別れを惜しみ、148年の歴史に幕を閉じました。

式典後には鴨庄地区自治振興会主催のイベントが開催され、市島中学校吹奏楽部の演奏で幕開けし、同小卒業生であるサクソフォニストの木寺里穂さん、尺八奏者の井本蝶山さんがそれぞれ5曲を披露。全児童39人が小学校や地域への思いを言葉でつなぎ、4年生以上による「鴨庄っ子太鼓」が力強い打音を体育館いっぱいに響かせイベントを盛り上げました。

鴨庄地区自治振興会の木寺章会長は「終わりでもあるが、始まりでもある。これまでの歴史を胸に、地域も前に進んでいきたい」と話しました。



「鴨庄っ子太鼓」を演奏し、イベントを盛り上げる児童たち



鴨庄小学校閉校記念イベントの来場者で記念撮影